

令和元年度政策トライアル予算の成果検証

	部局名	所属名	事業内容（トライアル予算）	事業費 （千円）	令和2年度当初予算（案）への反映状況	事業費 （千円）
1	総務部	人事課	採用試験において、定員割れが続く土木、農林業、獣医師等の技術職を確保するため、県外へのリクルート活動を強化し、受験者増加に向けた効果を検証	617	職員旅費（一部を活用） 本予算を活用し、これまで実績がほとんどない県外大学において仕事説明会や就職相談会を行った結果、50名以上の学生が参加し、職員が直接、来年度のインターンシップや採用試験の案内を行うことができた。 来年度は、今回の事業で多くの参加者を確保できた大学・地域に絞り、県庁仕事セミナーやインターンシップの参加案内を重点的に行うことで、選択と集中による効果的なリクルート活動を展開	200
2	総務部	人事課	「福井県職員クレド」を全ての職員に浸透するためのツール（ポスター、カード等）を作成し、職員の意識変化の測定、マイクレドや実践事例の収集を行う	165	自治研修所運営費（研修事業の一部） クレドポスターやカード等の各種ツールを試行的に整備し、職員が日々クレドの内容を確認する意識付けを行ったことにより、職員間においてクレドの実践事例や、独自の「マイクレド」が生じたり、若手職員からクレドに基づいたボトムアップの政策提言が行われる等、庁内に新たな動きをもたらした。 来年度は、ツールのブラッシュアップによるさらなるクレド浸透や、収集したクレド実践例等の横展開を図るためのクレド研修等を実施	1,851
3	総務部	財産活用課	県庁ホールにWi-Fi環境を整備し、来庁者の利便性向上を促進	473	県庁舎維持管理費（一部を活用） 利用状況等を調査した結果、来庁時の時間調整などの隙間時間に無料でインターネットが利用できる気軽さや、Wi-Fi接続する際に必ず県のホームページを経由する仕様により、利用者が普段はあまり意識しない県情報に触れる機会を作り出し、県情報のPRにおいて一定の効果が確認できた。また、仕事で来庁した際の急な調べ物に対応できた、通信費を気にせず気軽に観光情報を収集できたなどの声も寄せられ、来庁者の利便性向上面での効果も確認できたことから、来年度は利用エリアを拡大してほしいという意見を踏まえ、県庁ホールに加えて観光客の訪問が多い山里口御門展示スペース内にも利用を拡大しWi-Fi環境を整備	703
4	総務部	財産活用課	知事公舎の今後の利活用について、福井県民会議の場で議論するため、土地・建物の資産価値の調査を実施	1,361	知事公舎等維持管理費 適正な不動産鑑定評価により資産価値を整理し、県民会議の場で議論することができた。 来年度は知事公舎等の土地および建物を売却処分するまでの維持管理費を予算化	7,091

	部局名	所属名	事業内容（トライアル予算）	事業費 (千円)	令和2年度当初予算（案）への反映状況	事業費 (千円)
5	総務部	大学私学課	FAAの立ち上げのため、県内企業の課題等を調査し、地域に根差した教育研究を拡大させる仕組みづくりを行う	1,997	⑥FAA学ぶなら福井！応援事業 学生の地元定着促進に有効と考えられるPBLの普及に向け、地元企業や自治体におけるニーズや課題調査を行った結果、59社、4市町が関心を示すなど、PBLに対する地元の高い関心が確認できた。 また、具体的な課題として、商品の販売戦略や顧客満足度を高める戦略、道の駅の利用促進策などがあげられ、FAAと企業・自治体をマッチングする仕組みができた。これを受け、来年度はFAAによるPBL活動を支援する事業を実施	75,693
6	総務部	大学私学課	県内高校から県内大学への志願者を拡大させる施策の基礎資料として、高校生の進学ニーズに関するアンケート調査を行い、魅力向上策の検討に活用	591	⑥FAA学ぶなら福井！応援事業 高校生が進学大学を決定する際に重視するポイントを調査するため、県内全大学の入試担当部局へアンケート調査を行ったところ、県内大学を早い段階から学生に意識づけることなどが重要との結果が得られた。 また、県内高校を卒業する高校3年生およびその保護者に対しアンケートを行う。これらの分析結果を踏まえ、来年度当初から、県内高校生に対して県内大学を早期に意識づける事業等を実施	(75,693)
	合 計			5,204	合 計	85,538

※ 事業費の（ ）は再掲